

教科	社会	学年	3年	標準授業時間数	85時間（週2～3時間）
----	----	----	----	---------	--------------

目 標	教科目標	広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる民主的・平和的な国家や社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
	具体目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。 ・民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわり及び現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深めるとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。 ・国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。 ・現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、構成に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

評 価	観 点	社会的事象への関心・意欲・態度	25%	現代の社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、広い視野に立てよりよい社会を考え公民としての自覚をもって責任を果たそうとする。
		社会的な思考・判断	25%	現代の社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や役割、相互の関連などを多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえ公正に判断する。
		資料活用 の技能・表現	25%	統計や新聞、映像など現代の社会的事象に関する様々な資料を収集し、有用な報を適切に選択して活用するとともに、追求し考察した過程や結果を図表化しり報告書にまとめたり、発表や討論などを行ったりする。
		社会的事象 についての知識・理解	25%	現代の社会生活及び政治や経済の基本的な考え方、社会的事象の意義や役割互の関連などを理解し、その知識を身に付けている。
材 料	各種提出物の内容・学習プリント・ノート・定期テスト・小テスト・授業態度			
方 法	各評価材料を観点別に基準に従って評価する。 行動観察やそれぞれの結果を総合的に判断する。			

学 習 方 法	使用教材	教科書（東京書籍）
	学習形態	教室では主に一斉授業の形で進める。
	学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・友達や先生の意見を聞き自分の考えを深め、自分の考えを分かりやすく発表するようになる。 ・黒板に書かれたことや出た意見分かったことを復習できるようにノートにまとめる。 ・練習問題などによって、学習の定着度を確認し、不十分な内容は先生や友達に聞いて確認する。
家 庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学校で学習した内容を、その日のうちに復習する。 ・基本的な語句などは、繰り返し書いたりして、確実に覚える。 ・各提出物を、計画を立て期限に間に合うように仕上げる。 ・自分の理解した部分と理解できない部分を区別できるように、ノート整理をしたり、 ・安易に答えを見ないで、自分の力で解けるようにねばり強く考える。 ・日常生活の中に、学習した内容が活かされていないかを意識して見つけようとする。 	

学習内容

月	単元名・項目		学習のポイント
4	第1章 現代社会と私たちの生活	9	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を設け、生徒が主体的に学習する。 ・話し合いを通して課題を集約し、グループで課題追求する。 ・課題設定に当たっては、「国民生活の向上」「日本と世界の結び付きの変化」「国際社会における日本の役割の変化」の三つの観点を踏まえて設定する。
5	第2章 人間の尊重と日本国憲法 1.個人と社会生活	7	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化、少子高齢化など社会の変化に伴う家族の多様化や問題点を考える。その際「未来の家庭シミュレーション」を利用し、生徒自身が身近な問題として考えるよう留意する。 ・「育休パパ」を利用し、性差による役割分担の意識に気付き、男女共同参画社会の実現への課題を個人の問題として考える。
6	2.人権と日本国憲法	7	<ul style="list-style-type: none"> ・人種、性別、職業、生まれなどによる扱いの違いはあってはいけない不平等であることに気付く。 ・「二頭のロバ」の話を作る過程を通して、人権がぶつかり合った時、平和的に解決するためにはどのような方法があるか考える。
7	3.人権と共生社会	9	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会における様々な差別の事例から、差別をなくしていくためには個人や国が何をなすべきかを考えることができる。
9	第3章 現代の民主政治 1.現代の民主政治	5	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活の問題が政治と結びついていることに気付き、政治への関心を高める。
10	2.国の政治のしくみ	9	<ul style="list-style-type: none"> ・国会の地位を理解し、議会制民主主義の意義について考える。 ・国会のしくみについて「二院制」と「衆議院の優越」を中心に理解する。
11	3.地方の政治と自治	7	<ul style="list-style-type: none"> ・各自治体の条例や広報誌などを調べ、地方自治の意味と役割について考える。 ・地方自治のしくみを、地方議会と首長の役割を中心に理解する。
12	第4章 わたしたちの暮らしと経済 1.わたしたちの生活と経済	6	<ul style="list-style-type: none"> ・経済について興味・関心を持たせるため、身近な事柄を利用し、課題学習を設定し、多様な考え方に気付く。
1	2.市場経済と金融	5	<ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中の経済という視点から、市場経済や価格の決定について考える。
	3.国民生活と福祉	9	<ul style="list-style-type: none"> ・政治が果たしている経済的な役割を考える。
2	第5章 地球社会とわたしたち 1.国際問題と地球市民	5	<ul style="list-style-type: none"> ・地球的な課題解決に向けてのグローバル社会の意味を理解する。
3	2.国際社会と世界平和	7	<ul style="list-style-type: none"> ・EU、ASEAN、APEC等の具体的な結び付きの様子を通して、地域主義の動きを理解する。
合計時数		85	